

おおさか希望大使とは？

「おおさか希望大使」(認知症本人大使)とは、認知症になっても前向きに希望を持って暮らしていけることを自ら発信する、認知症ご本人の方々のことです。大阪府では、「おおさか希望大使」と一緒に活動することを通して、府民のみなさまに認知症への正しい理解が深まるよう取り組んでいます。

主な活動内容

- ・認知症の普及啓発活動への協力・参加
- ・地域における認知症当事者・家族との交流
- ・大阪府の認知症施策への提言・提案など

PR動画

大使のご紹介とともに、前向きに生きていくためのヒントをいただきました。

- 1 日常生活の楽しさを教えてください。
- 2 周囲のサポートで特にうれしかったことは？
- 3 新たに見つけた楽しみや趣味はありますか？
- 4 日常生活における工夫は何ですか？
- 5 他の人へ伝えたいメッセージ

大使の紹介やPR動画の視聴はこちら

おおさか希望大使

検索



おおさか希望大使

もりい よういちろう
森井 洋一郎さん
泉佐野市在住・63歳(委嘱時)

認知症であることを受け入れて、今できることを維持していけるように努め、自分らしく歩んでいくことが大切。今、あなたが感じていることを自分の言葉で伝えていこう。



しまたに みちひろ
島谷 通敬さん
茨木市在住・72歳(委嘱時)

認知症を隠さず生きてきたら、いつの間にか仲間に出会えた。忘れることの不安は確かにあるが、せっかく生まれてきたので、楽しくがんばっていきたい。

氏名・非公表さん(女性) 堺市在住・57歳(委嘱時)

この病気になって、改めて家族と友達に感謝。これからも自分らしく、明るく過ごしていきたい。

まつだ すえお
松田 末男さん
八尾市在住・77歳(委嘱時)

認知症という病気になったが、わるいことばかりではない。新たな人と触れ合って人生をエンジョイしてほしい。



活動の場

様々な場所でいきいきと活動しています！

● 地域での講演活動



● 認知症カフェ等の運営協力



● 認知症サポーター養成講座等での出前授業



● 認知症啓発イベントに参加



● 認知症本人交流会に参加

